



皆さんの情報をお寄せください
38-3111(内線53)

いつも駅をきれいに ありがとう

JR新潟支社から矢代田の田沢秀男さんへ感謝状の贈呈



去る3月28日、JR矢代田駅においてJR新潟支社の新津地区を統括する、吉田幸一新潟駅長より、小須戸町矢代田の田沢秀男さんに対して感謝状が送られました。
田沢秀男さんは、矢代田駅を毎日通勤、通学に利用される町民の皆さんに少しでも心に潤いを提供したいとの思いから、永年にわたり正月の門松飾りをはじめ駅舎の美化に貢献され、冬期間においては除雪業務にも尽力されました。
今度、この田沢さんの奉仕活動と功績に対し、JR新潟支社が感謝の意を表して感謝状の伝達式を執り行ったもので

ごくろう様でした -あき缶拾い-



4月21日(日)、町民のみなさんが一斉にあき缶拾いを行いました。早朝にもかかわらず、たくさんの方がそれぞれの地区で集まって道路のわきを歩きながら捨てられているあき缶を集めました。残念なことにはほんとうにたくさんありました。なぜ捨ててしまうのでしょうか？次回はもっと量が減っていることを期待します。

ボランティア頑張ってます



私たちは在宅介護者を応援しようとして下ふき布集めや呆け老人のパジャマを作っているグループです。このたび蔵町の佐藤弘次さんからこの会に本格的なロックスミンが寄贈されました。建替えを期に眠っていた機械をわざわざ調整し、お兄さんの佐藤竹雄さんと共に作品づくりの指導もして下さること。資料は丸山ニットさんのご好意でたくさんいただいております。これからの活動を楽しみに皆様との心あるご協力に感謝致します。
本町五 白井已致子

広報クイズ??

- ①住居表示が実施され舟戸町が〇〇1丁目と〇〇2丁目になる。
- ②平成8年度の小須戸町の予算はいくら?
- ③5月3日は憲法記念日、5月5日は子どもの日、さて5月4日は何の日?

ヒント 広報をよく読んで……
正解者には抽選で3名の方に記念品を進呈。

★応募方法

裏	表
クイズの答え	956-01 小須戸町大字小須戸 役場総務課 企画財政係 行
① ② ③ 住所 氏名 電話番号 町に対するご意見 ご希望等	

★締め切り 5月15日 (消印有効)

3月号のクイズの答え

- ① 金 ② 54% ③ ふきの

当選者

- 横山フミ子さん (天ヶ沢1)
- 大森美恵子さん (矢代田3)
- 井田 トヨさん (中央町5)



料理や材料で選ぶ スパイスを上手に使う

スパイスは香辛料のことです。植物性の調味料です。料理に独特の香りや辛みをつけて味を引き立てたり、食欲を増進させるのに使われます。ヨーロッパを中心に発達した香辛料は、現在干種類を超すといわれています。料理に使われる一般的な香辛料で、代表的なものは「シヨウウ」でしょう。「シヨウウ」の種を乾燥させて作りますが、刺激性の辛みと香りが特徴。肉料理の下ごしらえ、ラーメンを食べるときの隠し味などに使われます。ニンニクのこと

です。強いにおいが口臭として残るので嫌われがちですが、主に西洋料理や中華料理などで、うま味のもととして使われています。 ナツメツブは、ほろ苦さと独特の甘い香りが特徴の香辛料です。マレーやマラッカなどが原産地で、主に肉、魚の煮込み料理、カレー、クッキーやドーナツなどに使われます。

乾燥させたものです。その甘味と香りは、料理のほかにお菓子作りにも適しています。 トウガラシは、コロンブスがアメリカ大陸から持ち帰り、世界に広まったといわれているスパイスです。葉や種に辛みがあり、香辛料のなかで最も辛いといわれます。食欲増進、消化促進によいことから、いろいろな国の料理に使われています。ピーマンは、辛みの弱いトウガラシです。

日本料理でスパイスに当たるものには、サンシヨウ、シヨウガ、ワサビ、カラシ、ユズ、ミツバ、ミヨウガ、シソなどがあつて、「薬味」といつて親しまれてきました。料理や材料によって香辛料を使い分けるのは楽しいものです。



初夏

日の光初夏傾けて照りわたる 横光利一
初夏のみちぬれそむ雨に 桑車 飯田蛇笏
新緑、青い空、さわやかな風——初夏は、心が弾む季節です。旧暦では、夏というのは、立夏(新暦の五月六日ごろ)から立秋(新暦の八月八日ごろ)までのこと、それをさらに初夏、中夏、晩夏の「三夏」に分けていたようです。
初夏という言葉はよく使いますが、中夏や晩夏は耳慣れない言葉ですね。
初夏は、暦のうえでは現在の五月六日ごろからといえるでしょうが、実際の感覚からいうともう少し遅いといえます。暖かい地方では五月中旬ごろから六月中旬、北の地方では六月下旬ごろまでを初夏と感じるのではないでしょう



か。初夏と同じ時期を表す言葉に、余春(立夏を過ぎて夏に入っても、まだ春の趣が残っていること)、夏めくなどもあります。
若夏という言葉をご存じですか。沖縄地方で四、五月の季節を表す言葉です。沖縄の本土復帰の後、初めての国体の名称が「若夏国体」でした。沖縄では、初夏のことを方言で「うりずん」といいますが、それを若夏とも表現します。その土地の季節感にあった表現もいろいろですね。
さわやかな季節でも戸外に出られず病床にある方や、外出には介助が必要な方もいます。五月十二日は「看護の日」、この日を中心とした一週間は「看護週間」です。この日を機会に、看護の大切さを考えたいものです。